

## 伊丹市議会議員 おおつる 求の活動報告

みんなちがって、  
みんないい議会  
報告

## いよいよ伊丹市も『新電力』に。

兵庫県の6割を超える自治体が、契約電力 50KW 以上の公共施設等の電力供給を関西電力から特定規模電気事業者、いわゆる新電力へ切り替えています。

私は6月議会の一般質問で、「経費削減」はもちろん、再生可能エネルギー電力の積極的な購入に動くことが重要であることを指摘し、「市でも競争入札を拡大する検討を進めるべきだ」と、市の見解を問いました。

それに対し市は 50KW 以上の市内高圧受電施設 70 施設のうち、幼稚園・小学校・中学校など学校園関係 34 施設を、2016 年 9 月から新電力に切り替えると共に、今後も新電力への切り替え可能な施設については積極的に進めていく、との答弁。

また、競争入札の際は「伊丹市電力の調達に係る環境配慮方針」(下表)評価項目の審査を実施すると共に、4月から電力小売り全自由化が始まったため、共同利用施設など低圧受電施設も、早期に新電力導入へ検討を進めるとの考えを併せて示しました。



## 「伊丹市電力の調達に係る環境配慮方針」(抜粋)

目的：環境への負荷の低減を図るとともに、環境と経済が両立する社会づくり

評価：二酸化炭素排出係数・未利用エネルギー活用状況

再生可能エネルギー導入状況

加算：環境マネジメントシステム導入状況、グリーン電力証書購入状況

「危険な原発再稼働を認める」か、「料金の値上げ」かを突きつける関西電力の姿勢に、私は大きな問題を感じていました。

脱原発の電力へ切り替える市の動きを応援していきます。

**おおつる 求**

日々の活動はブログで報告しています。「おおつる 求」で検索して、是非ご一読ください。

## 6月議会 エトセトラ

6月議会では新電力の他に「病児保育の現状と課題」「小学校の通学路の安全確保」について質問しました。身近な話題も含めてご報告します。



### ◇病児保育の現状と課題◇

昨年6月1日から市立伊丹病院事業所内「みどり保育園」(定員2名)で始まり1年。

#### 現状 (昨年6月～今年3月末)

- \* 事前登録者数 137 名
- \* 実利用者数 37 名 延べ利用者数 82 名
- \* 延べ利用日数 174 日
- \* 定員超過によるお断り回数 24 回

#### 課題

- \* インフルエンザ時期に定員超過で受入をお断りすることがあった。
- \* 計画ではあと2名を整備しなければならないが、困難を極めている。

#### 提案



「派遣型・訪問型病児保育」導入も検討していただくよう要望。

### ◇児童の安全を交通規制で◇

毎朝300名超の児童が短時間に通る南小学校通学路の危険箇所「御願塚北踏切」。

南小地区まちづくり協議会名で市長及び阪神阪急HDへ要望書「御願塚北踏切の拡幅及び、適切な幅の歩道確保」を提出。

#### その結果

踏切拡幅は通過交通を呼込み事故の危険性が増すため、登校時間(7時半～9時)に交通規制をかけ、通行車両を限りなく無くすることで安全確保を図ることに。

### ◇放課後児童クラブがタイヘンだ◇

放課後児童クラブ(学童保育)を利用する児童数が増え教室が足りない事態が発生。特に夏休み期間は利用者が多くなるため、深刻な問題になっています。

それに伴う指導員確保も困難を極め、夏休み期間に限り、大学・短大の教職課程、もしくは保育士養成過程に在籍し資格取得予定の学生さんをお願いしています。

2学期からの対応も含め、長期的視野でしっかり考えていきます。

### ◇市立野外活動センターを譲渡◇

長年、市民に親しまれ、小学校4年生の転地学習にも利用されてきた「市立野外活動センター」(三田市)。

施設の老朽化、市民利用の減少に加え、毎年約6,000万円の赤字解消のため、民間譲渡されることになりました。

### ◇市の認知症施策◇

昨年度、1,800名の方々が認知症サポーター養成講座を受講し、良き理解者として活躍中。

65歳以上の健診に「もの忘れ検診」及び「ロコモティブシンドローム検診」を同時受診できる体制を構築。今年5月には市内2ヶ所で「認知症カフェ」を開催。

原発再稼働に対する意見は様々ありますが、原子力災害の広域避難は共通の課題です。

市民の皆さん、ご存知ですか。

## 福井の原発で大規模災害が発生した場合、 福井県おおい町の方々が伊丹に避難されます。

東京電力福島第一原子力発電所の大事故で、『原発安全神話』は崩壊しました。

今でも約 15 万人の方々が避難生活を余儀なくされています。

それでも国は原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、原発再稼働を進めています。

2014 年、関西広域連合は「原子力災害に係る広域避難ガイドライン」を策定。原子力災害発生時のルールを決めました。

その中にある広域避難計画には、福井の原発災害時、福井県おおい町の住民が伊丹市と川西市に避難すると決まっています。

### 南中は、おおい町本郷 5・6 区住民。

例えば「おおい町本郷 5・6 区」の方は、笹原公園へ行き避難先の「南中学校」へ。

「おおい町小倉地区」の方はスカイパークへ行って「有岡小学校」へ、とすべての学校が避難先として割り振られています。

### 市の避難受入計画は策定されておらず。

福井県では避難計画・マニュアルが作成されているにもかかわらず、伊丹市の避難受入計画等は未だ策定されていません。

受入環境が整っても、避難者の駐車場や食料の確保、汚染検査済証を持ってない方への対応、避難所運営など課題は山積です。

### 避難所になる各学校が知らない。

驚いたことに市は、避難所になる各学校に伝えていない、と議会で答弁しました。

各学校へは「避難計画などの受入態勢が整備できた段階で説明する」、市民へは「内容を精査したうえで周知内容・方法を検討する」という姿勢です。

### こんな状態で再稼働していいのか。

形だけの避難計画。ましてや受入側は計画さえ出来ていない。こんな状態で原子力災害が発生したら大混乱するでしょう。

再度、私たちは福島教訓を胸に刻み、原発について冷静に考える必要があります。

高浜原発30<sup>キロ</sup>圏内から兵庫県への避難

	避難元対象人口(人)	避難先
福井県	小浜市 31100	姫路、豊岡、養父、朝来市、市川、福崎、神河、香美、新温泉町
	若狭町 16100	西脇、三木、小野、加西、加東、篠山、丹波市、多可町
	高浜町 11000	宝塚、三田市、猪名川町
	おおい町 8700	伊丹、川西市
京都府	舞鶴市 89000	神戸、尼崎、西宮、淡路市
	宮津市 20300	明石、加古川、高砂市
	綾部市 9300	相生、赤穂、宍粟、たつの市、太子、佐用町
	南丹市 4200	洲本、南あわじ市
	福知山市 600	上郡町
	京丹波町 3500	芦屋市
伊根町 1600	稲美、播磨町	

2016/1/30 神戸新聞NEXTより



フォトダイアリー《おおつる求フログから》



- 【写真説明 上から時計回りで】
- \*「5.23 狭山事件の再審を求める市民集会」に参加。
  - \*参議院選挙 市民の後押しで各地で画期的な野党共闘成立。
  - \*稲野夏祭り 青年部が初太鼓。
  - \*伊丹朝鮮初級学校運動会。
  - \*福井県庁前交差点にて。



第6回さようなら原発 1000人集会  
福島事故は、終わらない  
帰還政策は、なんのため？

日時：10月8日(土) 午後1時半  
場所：いたみホール  
講演：海渡 雄一(弁護士)  
ゲスト：うの さえこ(震災避難者)  
福島 みずほ(参議院議員)  
◆当日 1,000円、前売 800円  
主催：実行委員会 090-3613-7069

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。  
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

伊丹市議会議員 おおつる 求

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。  
■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流 NPO スタッフとして「地球一周の船旅」に参加 ■中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局 ■2015年4月の伊丹市議会議員選挙に社民党公認で立候補、初当選。 ■会派「フォーラム伊丹」所属。

日々雑感

- ◆今夏もゴーヤが緑カーテン作るも、暑さに負けて冷房部屋へ。
- ◆公立保育所全園民営化を阻止した「伊保連」、活動休止に。
- ◆前年62位から後退。報道の自由度ランキング72位の日本。
- ◆政権与党が「学校教育の政治的中立性」を判断するフシギ。
- ◆「人の世に熱あれ、人間に光あれ」奈良・水平社博物館にて。
- ◆半数超の学生が奨学金という名の「学生ローン」を借り、卒業後、数百万返済に苦しむ現実。
- ◆『明日も喋ろう 弔旗が風に鳴るように』今年も阪神支局で自分を見つめ直す5月3日。
- ◆向坂逸郎氏直筆色紙発見。「為大津留求君 幸福な人間はつねに誠実である！」深すぎる。
- ◆画像が消えるブラウン管TVを叩く頻度が増えてきた昨今。